

Bonjour à tous. みなさまこんにちは！

梅の蕾も膨らみ始め、春の足音が聞こえてきます。

冬学期の4回目の答案提出も終わりました。3月の学期末は、質問サポートも込み合いますので、お早めにお送りください。また、冬学期の学習を進める一方で、春学期や今年度の学習計画も立てていきましょう。

今回は、2020年春学期、新しくリニューアルされる講座を中心にお知らせいたします。



■ Infos pratiques 1 – 2020年春学期 新開講・リニューアル講座のお知らせ！！

▶ 新講座「通訳案内士フランス語筆記試験 準備対策 (5CEG1)」C1レベル

国家試験の通訳案内士フランス語試験の合格を目標にした試験対策講座です。最新の試験の傾向に合わせて、完全リニューアルされました。試験は、2020年8月16日(日)予定。仏検1級をお持ちの方は、フランス語試験が免除されます。願書配布・受付は、5月中旬から。詳細は、4月上旬に、JNTO 日本政府観光局のHPをご覧ください。このコースは、5課題で構成され、各課題、筆記試験で試される5つのパートを学習します。口頭試験対策には、オプションで「口頭模擬試験」を追加できます。

▶ 課題リニューアル「翻訳入門 Traduction initiale (3CVT4)」B1レベル

春学期から3CVT4の課題が新しくなります。初めて翻訳に挑戦する方、本格的な翻訳に入る前の翻訳準備講座です。仏和・和仏ともそれぞれ5課題で、合計10課題に取り組みます。学習ガイドには、翻訳の基本がまとめられています。

■ Infos pratiques 2 – 2020年春学期のお申し込みについて



お申し込み受付は、3月7日(土)スタート

春学期：4月4日(土)～6月26日(金)

次の受講コースについて迷っている方、学習に関する悩みがある方、
お気軽に通信事務局までご相談ください！

インターネットからのお申し込みには、「通信ブティック」↓をご利用ください

★ tsushinboutique.com ★

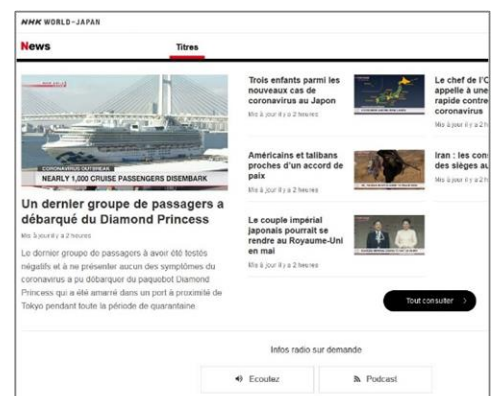


■ フランス語のオンラインニュースいろいろ

NHKワールド・ジャパンは、日本のニュースをフランス語で紹介しています。「クルーズ船」「花粉症」ってフランス語で何て言う？

毎日、ラジオのように聞いていけば、そんな疑問も解決してくれます。聞き取り力UPだけでなく、日本で話題の時事単語を知ることができ、仏検をはじめ口頭試験対策にも活用できます。

スマートフォンやタブレット用にアプリも用意されています。



Voici qu'arrive le mois de mars. Voyons ce qui se cache derrière ces 4 petites lettres...

まもなく3月になりますね。三月という言葉 mars、この四字に何が隠されているか見てみましょう！

Le dieu Mars 軍神マルス

Mars est, avec Jupiter, le dieu principal des Romains. Père de Romulus, fondateur mythique de Rome, il est le dieu de la guerre, activité essentielle à Rome : chaque citoyen est soldat, et les guerres perpétuelles ont fait de cette cité un empire immense.

マルスは、ジュピターとともにローマの重要な神です。伝説上のローマの建国者であるロームルスの子で、主にローマで活躍した軍神です。市民はみな兵士であり、絶えず繰り返された戦争は、この都市国家を巨大帝国にしました。

Le mois de mars 三月

Si le premier mois du printemps a été consacré au dieu Mars, c'est parce que c'est la saison où commencent les batailles. Mais Mars est aussi un dieu de la fertilité qui préside donc, au début du printemps, au réveil de la nature.

春、最初の月がマルスの神に捧げられるのは、戦が始まる季節だからです。でも、マルスは豊饒の神でもあり、初春の自然の目覚めを司ります。

La planète Mars 火星

Une des cinq planètes visibles à l'œil nu (avec Vénus, Jupiter, Mercure et Saturne), les Romains y ont vu la manifestation céleste de leur dieu de la guerre.

火星は、肉眼で見える5つの惑星の一つ(金星、木星、水星、土星とともに)で、ローマ人たちはそこに彼らの軍神の姿を見ていました。

Dans d'autres civilisations, Mars est nommée d'après sa couleur rouge, ou associée au feu, comme en Chine et au Japon (en japonais 火星 *kasei*, « l'étoile-feu »)

他の文明では、火星はその赤い色から、中国や日本のように火に関連して名前がつけられました。



Le mardi 火曜日

À chacun des 7 jours de la semaine est associé un astre : le Soleil (dimanche), la Lune (lundi) et les cinq planètes visibles. Ainsi *mardi* est en latin *martis dies*, jour de la planète et du dieu Mars.

一週間のそれぞれの曜日は、太陽(日曜)、月(月曜)、肉眼で見える五惑星と結び付けられています。

つまり火曜日は、ラテン語の「マルスの日 (*martis dies*)」、「火星の日」で「軍神マルスの日」ということです。

Marc, Martin, Marcel

Les noms latins *Martinus*, *Marticus* et *Marcellus* sont devenus en français *Martin*, *Marc* et *Marcel*, et sont dérivés du nom du dieu Mars.

ラテン語の「マルティヌス」「マルティクス」「マルケッルス」の名前は、フランス語のマルタン、マルク、マルセルで、神マルスから派生した名前です。

Martin est par ailleurs le nom de famille le plus courant en France (230 000 personnes environ). La popularité de ce nom vient de saint Martin (316-397), ancien soldat devenu évêque, un des principaux saints français et patron des dynasties royales de Clovis et Charlemagne.

またマルタンは、フランスで最も一般的な姓でもあります(約23万人)。この名前の人気は、聖マルティヌス(316-397年)に由来します。聖マルティヌスは、司教になった元兵士で、フランスの主要な聖人の一人であり、クロヴィスとシャルルマーニュ(カール大帝とも)の王朝の守護聖人でした。



Saint Martin de Tours partageant son manteau, miniature extraite des Grandes Heures d'Anne de Bretagne, (XVI^e siècle)